

白石川堤防を散歩中の人から桜にコケ状のものが着いているが大丈夫なのか？と尋ねられることがあります。「ウメノキゴケ」(地衣類(写真①))といい、名前の由来は「梅の木」ですがサクラ、マツ、ツツジなど多くの樹木に着きます。高圧洗浄機や酢、石灰硫黄合剤などで簡単にとれますが寄生でなく着生です。樹に影響しません。むしろ樹が衰弱して樹皮の代謝が悪くなると着きはじめるので樹のほうの問題です。

奈良の吉野山(写真②)は日本を代表する桜の観光名所として知られ「一目千本桜」の名前の由来にもなった所ですが、先日、京都大学の先生から桜について講演があり、その中で先生は「ウメノキゴケ」の成長速度は年間最大で数mm、すなわち樹皮表面の伸長速度がこれ以上であれば着生しないことになるが、吉野山の尾根付近、特に南向き斜面の桜は衰退してウメノキゴケが多く見られ、2次的にならたけもどき病に罹っている」と言います。

大河原町も似ています。ウメノキゴケが目立つような樹は毎年枝枯れが起こり最後には全体が枯れてしまい根元伐採に至ります(写真③)。そしてその多くは切られる数年前に輪に添った小さな穴の列・写真④)を臨時に



つくりやニ(脂)を分泌し防御へと動きまわりますが、弱り目に祟り目、病原菌は枯死を助長します。

ある専門家は東日本大震災のあの時の激しい揺れは10年後に影響が現れる場合があると指摘します。気候変動もそうですが、樹の衰退は老化した樹ほどこのようなストレスに対して適応できずに進んでしまっています。ウメノキゴケの着生具合を見ながら治療のしかたを考えています。

第43回 ウメノキゴケ着生は衰退判断の指標



町内在住の樹木医

尾形政幸先生の花は桜木

町長コラム
Mayor's column

さくら並木

人生100年時代につながるWell-beingなまちづくり。

～『敬老会』と多様な自治を支える人づくり・仕組みづくり～

大河原町長 齋 清志

9月16日は『敬老の日』でしたが、その前後には多くの行政区での『敬老会』が開催されています。日程が重なることもあって慌ただしい出席となりがちですが、心からのお祝いと町発展へのご尽力に対し感謝の意をお伝えしています。

ここ数年は、これまで経験してこなかった社会経済環境の変化に晒されています。特に、コロナ禍や国際紛争の生活へ及ぼす影響、さらには激甚頻発化する自然災害等によって、人と人や、人とその人が住む地域とのつながりの大切さが教訓として示されているように受け止めています。そして、ようやく『敬老会』が開催される程に以前の日常が戻り、人々の動きや社会活動が活発になって交流やつながりが復活している実感が持てるようになりました。

さて、本町での最高齢者は大正6年生まれの107歳のかたです。100歳以上のかたは本年7月末現在で13名、80歳以上のかたは2,263名とのことです。正に、『人生100年時代』の到来です。改めて、厳しい時代を生き抜いて来られた方々の幾多の経験と豊富な知恵を、これから未来を担う人々にご指導いただくことを切に願ってやまないとこ

す。

本町では、今年度からスタートした長期総合計画の見直し(後期計画)により、コロナ禍ははじめ様々な社会経済環境の変化を踏まえた『Well-being(心身と社会が健康で幸福な状態が継続すること)なまちづくり』を目指すこととしています。また、誰もが支え・支えられて共に生きることを大切にする『地域共生社会』の実現を図ってまいります。さらに、日常で体を動かすこともスポーツと捉えて、スポーツと健康・スポーツと観光・スポーツと交流等の様々な場面で『スポーツを活用したまちづくり』の実践を提唱しています。

そして、高齢社会の進展に対応する施策の目標として、『認めあい・支えあい・活かしあう』基本理念を土台とした取組に努めてまいります。高齢者の方々が、生きがいのある生き方や安心な暮らしが送れるように、健康づくり・医療・介護・福祉の連携を図りながら、より良いサービスの提供が叶うよう施策に磨きをかけてまいります。

また、地域コミュニティの再生や情報共有による住民自治の在り方が問われるなかであって、日々の自治

会運営にご尽力いただいている区長さんはじめ、区の役員の皆様には感謝の気持ちで一杯です。今後とも、皆様の真摯な取組が、なお一層多様な自治にあっても、地域を支える人づくりや仕組みづくりにつながることを心より期待しているところで

本町は、県内にあっては『元気で長生きなまち』のトップを走り続けています。医療環境にも恵まれて、地域の取組の早さも要因ですが、何よりも高齢者の健康意識の高さが決め手となっていると受け止めています。長寿を迎えられた皆様の更なる健やかな人生を祈念して、改めてWell-beingなまちづくりに邁進する決意を込めたところで



▲金ヶ瀬5区敬老会の様子

(9月17日記)

材料 (2人分)

- ・りんご……………1/4個
- ・ブロッコリー……………1/4株
- 【A】
- ・ヨーグルト……………大さじ2
- ・マヨネーズ……………大さじ1
- ・レモン汁……………小さじ1
- ・塩……………少々
- ・こしょう……………少々

作り方

- ①ブロッコリーは小房に分けて、2分ほど塩ゆでし(塩は分量外)、粗熱を取る。
りんごは皮つきのまま、いちよう切りにする。
- ②Aの材料をボールに入れて混ぜ合わせる。
- ③②に①を加えてさっと和えて器に盛る。



【ひとり分栄養価】 写真は1人分
エネルギー:93kcal 塩分:0.2g

りんごの酸味と歯ごたえで
美味しさが増します！

松田 章子(錦町区)

調理担当
ヘルスメイトから一言

りんごとブロッコリーの ヨーグルトサラダ

令和6年度大河原町食育スローガン

「らくらく(楽々)みんなで食育推進」